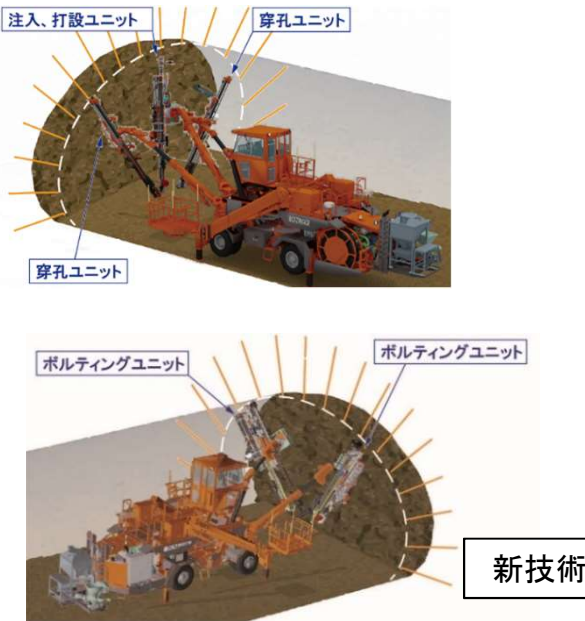
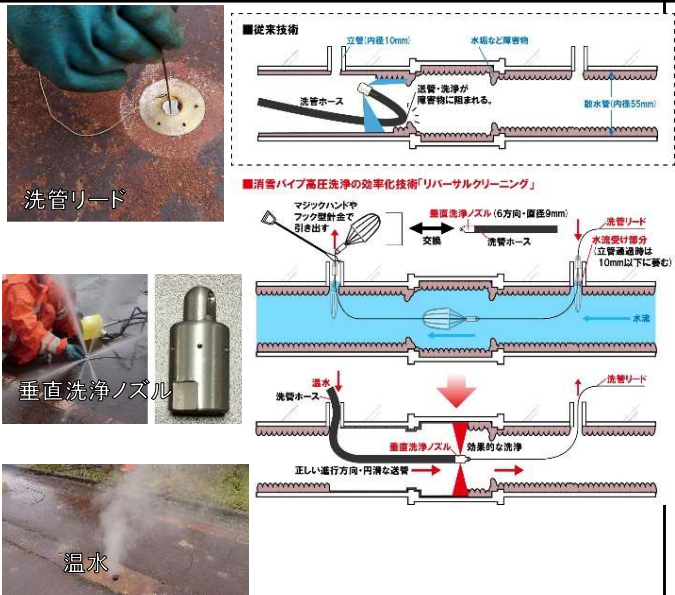
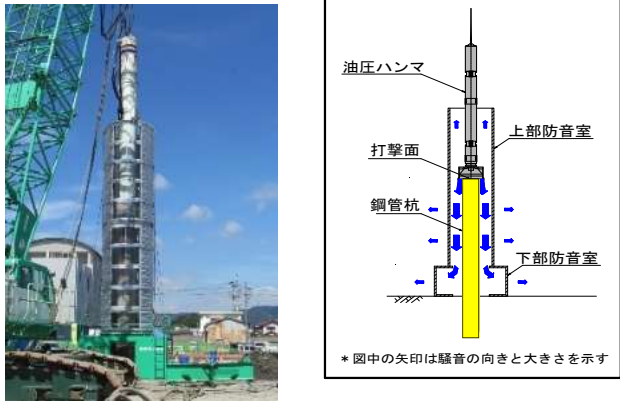


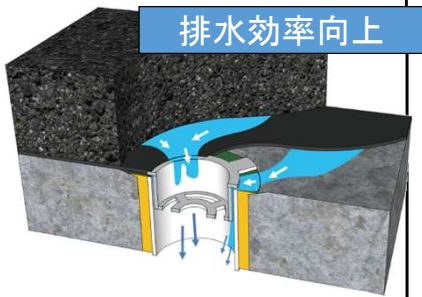
推奨技術 概要一覧

1. (令和6年8月26日選定)	2. (令和6年8月26日選定)	3. (令和6年8月26日選定)
KT-230301-A	KT-220225-A	KK-220073-A
鋼製支保工建込ロボット (ROBO ARCH)	ロックボルト施工機 (ボルディングー)	自走式床版搬送据付装置 「アームローラー工法」 (プレキャスト床版の搬送・据付装置)
本技術は、山岳トンネル工事における鋼製支保工建込を、肌落ち災害のリスクのある切羽直下に作業員を侵入させることなく行うことができる技術であり、安全性の向上と、作業時間の低減による生産性の向上に寄与します。	本技術は、山岳トンネル工事におけるロックボルト工を、肌落ち災害のリスクのある切羽直下に作業員を侵入させることなく行うことができる技術であり、安全性の向上と、作業時間の低減による生産性の向上に寄与します。	本技術は、プレキャスト床版の取替工事・新設工事において、移動式クレーンを使用しないでPCa床版をトラックから取り受け、床版を把持した状態で前後進・旋回、床版の上げ下げ、据え付けといった一連の作業を、正確かつスムーズに単独で行うことができる技術です。
		

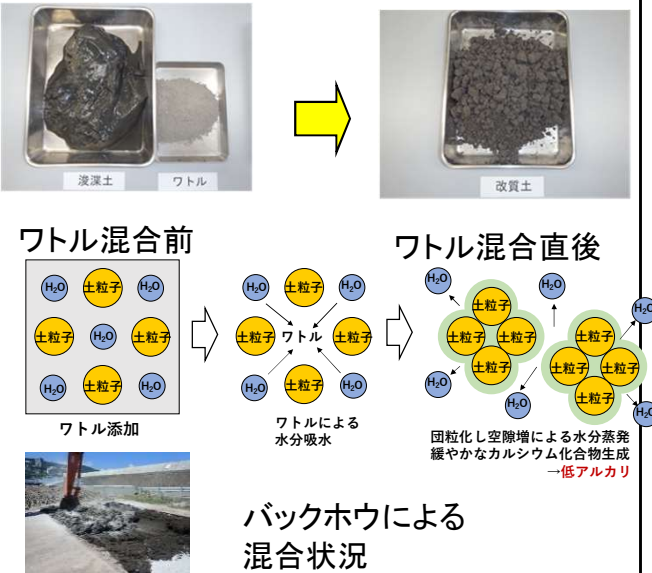
推奨技術 概要一覧

4. (令和6年8月26日選定)	5. (令和6年8月26日選定)	6. (令和6年8月26日選定)
HR-220004-A	KT-210028-VE	KT-210020-A
消雪パイプ温水高圧洗浄 「リバーサルクリーニング」 (「100℃の温水」「洗管リード」「垂直洗 浄ノズル」を用いた消雪パイプ高圧洗浄の効 率化技術)	油圧ハンマの騒音防止装置を使用し た鋼管杭の打止め工法 (鋼管杭の先端処理を打撃方式で低騒音に打 止める施工方法)	ScanX(スキャン・エックス) (オンライン3D点群処理ソフトウェア)
本技術は、洗管リード・垂直洗浄ノズル・温水を用いた消雪パイプの高圧洗浄工法です。従来は高圧エアと水の混合による常温高圧洗浄工法で対応していましたが、本技術の活用により、水垢が固着した管内での送管と洗浄が容易になり、主に工程の短縮と経済性の向上が図れます。	本技術は、市街地における鋼管杭施工時の先端処理を打撃方式での打止め施工を可能とする低騒音・無排土施工技術です。従来は中掘圧入先端根固め工法で対応していましたが、本技術の活用により、杭の支持力が容易に確認できると共に打撃工法の持つ高い貫入性能を十分に発揮させることが可能となります。	本技術は、点群データの地物をアルゴリズムやAIを用いて自動で分類することで工数削減する技術です。また、クラウドでサーバーを構成し重い処理を担わせることとWebアプリケーション形式で実装することにより、ブラウザから簡単にシステムを使用できるため、初期導入費のコストダウンに寄与する技術です。
 洗管リード 垂直洗浄ノズル 温水	 油圧ハンマ 打撃面 鋼管杭 上部防音室 下部防音室 30dB騒音低減のメカニズム図 本技術による施工状況写真	

推奨技術 概要一覧

7. (令和6年8月26日選定)	8. (令和6年8月26日選定)	9. (令和6年8月26日選定)
HK-200001-A	KT-180049-A	KT-180039-A
高機能床版排水パイプ (クワトロ・ドレーン)	ANDPAD (監督と作業員間の連絡調整がスムーズに 確実に行えるように支援するツール)	泥水二次処理剤自動添加システム (余剰泥水の性状変化に対応して 適量の二次処理剤を自動添加)
本技術は、低コストで高機能な床版排水を実現し、橋梁の延命化に寄与する技術です。 従来はシンプルな構造の排水パイプが用いられてきましたが、従来にない4つの新機能を搭載することで、排水効率や耐久性の向上が図れます。	本技術は、監督と作業員間の連絡調整・情報共有がスムーズかつ確実に行えるように支援するクラウド型建設プロジェクト管理サービスです。 本技術の活用により、これまで電話や対面、FAX等に対応していた情報共有がリアルタイムで行うことができ、業務効率化及び施工品質の向上が図れます。	本技術は、泥水式シールド工法の二次処理土（建設汚泥）の発生抑制を目的としたシステムです。 本技術の活用により、掘削土質の変化に対応した二次処理剤の濃度、添加量の自動調整が可能となります。 その結果、二次処理土が大幅に削減され、作業の省力化、環境負荷低減、コスト縮減等が図れます。
  排水効率向上 凍結対策 振動対策  	 ANDPAD	 余剰泥水の比重と送泥量を自動計測 懸濁粒子量と適正な二次処理剤の濃度および量を自動演算 リアルタイムに二次処理剤ポンプと清水ポンプを制御して自動添加 システム構成 【処理プラント】 自動添加装置 操作モニタ 【中央制御室】 二次処理剤の添加管理を「自動化・見える化」 二次処理土を削減

推奨技術 概要一覧

10. (令和6年8月26日選定)	11. (令和6年8月26日選定)
TH-160010-VR	KT-140030-VR
吸水性泥土改質材「ワトル」 (改質材の吸水効果による泥土の即時改良)	レーザー三次元計測システム 簡測くん (土木・鋼構造物向け高精度三次元 レーザートラッカー計測システム)
本技術は、吸水性の高いペーパスラッジ焼却灰（P S 灰）を主原料とした泥土改質材であり、P S 灰に補助薬剤と水を添加混合後乾燥処理したのになります。 本材料を泥土に添加混合することで、泥土中の水分を吸収し即時に泥土の強度を高めることができます。	本技術は、レーザートラッカーを利用した橋梁部材の出来形計測システムであり、計測ターゲットの事前設置・撤去が必要なく、計測を専用治具により行うことで、効率的な計測作業を行うことができます。 計測球を用いることで任意の点を直接計測ができ、加えて計測点と設計値の座標をその場で比較できるため、出来形の良否判定が即座に可能となります。
 Watol混合前 Watol混合直後 Watol添加 バックホウによる混合状況 団粒化し空隙増による水分蒸発 緩やかなカルシウム化合物生成 →低アルカリ	 計測器本体 計測球 施工状況 計測結果確認

推奨技術 概要一覧

1 2. (令和6年5月9日選定)

CB-180013-VE

ウォータージェットはつり 処理工法 ジェットマスターJMK-2100
(自動制御によるウォータージェットはつり 処理工法)

本技術は、人力では保持が不可能であった、大水量の超高压水を 機械に保持させ噴射し、さらにノズルユニットを自動的に駆動させることで、安定的、均一にはつり作業を行う技術です。
また、危険で劣悪な環境且つ、熟練工でなければならなかった人力 によるハンドガン作業を、より安全 に、汎用的な作業に切り替えることを可能とします。



1 3. (令和5年度選定)

CB-190009-VE

エコクリーンクールスーツ
(有害粉じんのブラスト作業時の熱射病対応の装備)

密閉された足場内で有害塗膜除去のブラスト作業時において送気マスク (JIS T 8153)と化学防護服(JIS T 8115)の機能を備えたスーツです。冷気変換器を使用する事でWBGT値(暑さ指数)を10℃下げる事が可能で熱射病対策として有効であり作業環境改善を図る装備です。



1 4. (令和5年度選定)

KK-200034-VE

ドローンLidarシステムTDOT
(専門的な知識が無くても近赤外線レーザー及び緑色光レーザーを使った3次元高精度データを取得できるドローン測量システム)

近赤外線レーザーまたは緑色光レーザーのスカナ搭載ドローンに搭載し、陸域および水面下の対象物の3次元座標を取得する技術である。軽量のシステムにより、現位置で簡単に組み立てる事ができ、かつ長時間飛行による広範囲の測量を実現させる。また、測量データを自動解析するソフトにより、誰でも簡単に高密度かつ高精度の3次元レーザー点群で陸域水域の詳細な地形を再現する事ができる。



推奨技術 概要一覧

15. 令和4年度選定)

HK-150004-VE

Single i工法 (シングル i工法)
(コンクリート内部に発生したひび割れや空洞を正確に検査しその場で確認できるシステム)

現場でリアルタイムに調査でき、鉄筋損傷の無い小型軽量機器と穿孔ビットによる微破壊コンクリート内部調査工法として、『Single i工法』を開発した。極小口径($\phi 5$)で1次穿孔を行い、調査用特殊カラー樹脂を注入してひび割れ内に含浸させる。樹脂の硬化後、同位置に、一回り大きい2次穿($\phi 10.5$)を行い、着色されたひび割れ部をi-SCOPE(高性能内視鏡)で観察し、柱状で鮮明な画像記録や動画記録として保存することができる。

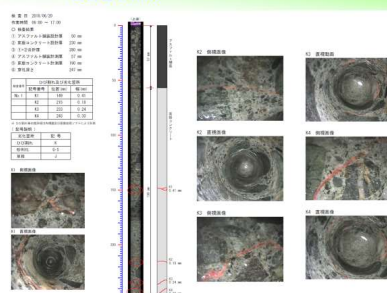


内部調査中



内部欠陥の観察

報告書の作成



16. (令和4年度選定)

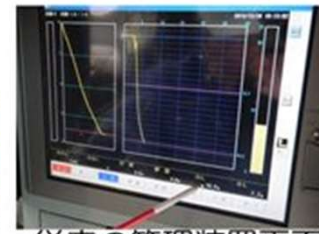
CB-160026-VE

SAVEコンポーザーHA
(硬質層貫入能力向上と支持層到達を画面表示する静的サンドコンパクションパイル工法)

SAVEコンポーザーHAは、エアと水の両方を混合して噴射する装置(エジェクター)を使用することで、軟弱地盤の中に含まれる硬い部分(N値35程度の砂層まで)への貫入能力を向上させた無振動・低騒音のサンドコンパクションパイル工法である。また、管理画面上に支持層への到達表示を行うことで、支持層の傾斜や複雑な土層構成の地盤においても、オペレーターの負担が減り、確実な施工管ができる技術である。



貫入補助エジェクター
噴射状況



従来の管理装置画面



支持層への到達時
(文字情報の提示)

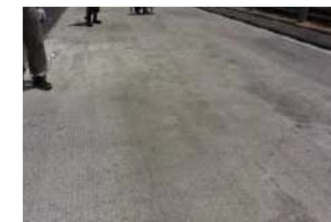
17. (令和2年度選定)

QS-170005-VE

クマンツメ
(アスファルト舗装版打替えに伴う不陸整正切削除去器具)

橋梁舗装版の切削打替え工事に必要な二次切削が従来工法では精度が悪く剥ぎ残しに苦慮していた。

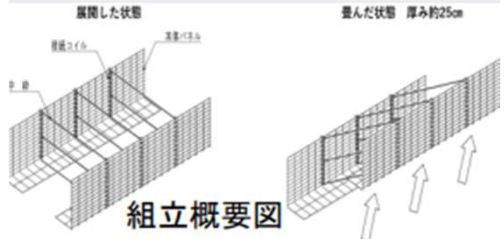
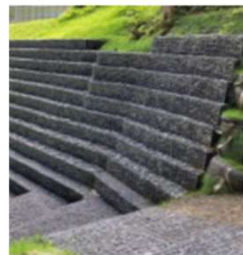
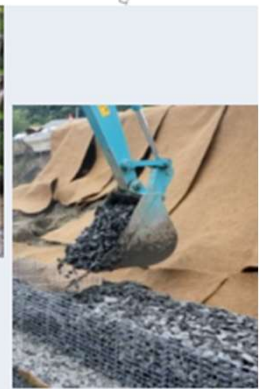
本技術では、切削刃の材質変更と切削刃を湾曲版にし、取付ツースの改良を行った結果、綺麗に切削仕上げが可能になり剥ぎ残しが、ほぼゼロ%の施工に成功した。



本技術クマンツメによる二次切削路面精度立会確認状況。突起、凹凸は確認できない。この上に防水(シート、塗膜)をし、舗装する。

従来工法による二次切削路面精度立会確認状況。突起、凹凸などコンペイ糖程度の剥ぎ残しが確認できる。

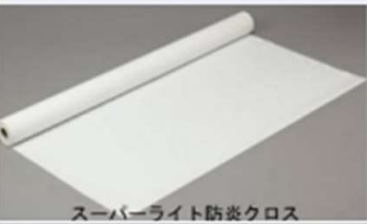
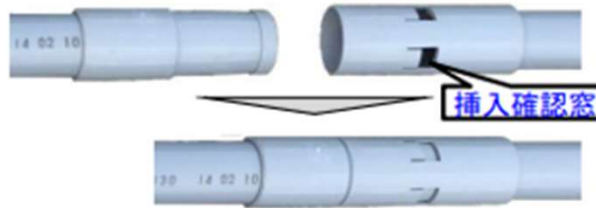
準推奨技術 概要一覧

1. (令和6年5月9日選定)	2. (令和6年5月9日選定)	3. (令和6年5月9日選定)
KT-160064-VE	KT-170070-VE	KT-200133-VE
Gブロックドレイン (製品素材にステンレスを用い、ステンシルフィルター又は多孔質防滑 透水ゴムフィルターを有する クリー ニングオフの鋼製排水溝)	ポストウイングシリーズ (既設の視線誘導標等に被せて貼 付る 高輝度デリネーター)	砕石メッシュかご「かご楽」 (中詰め材に砕石を使用することで施工性向上や 省力化を図る砕石 メッシュかご工法)
本技術は、雨水吸水にフィルター を備える事で、鋼製排水溝内部へ の土砂、ゴミの流入軽減が図れる 技術です。 本体母材はSUS821L1のため、高 耐久化・軽量化が図られ、長期の 使用と施工時・清掃時の省力化に も貢献いたします。  	本技術は、ウレタンターポリンに 反射シート を貼りつけたカバー式の 視線誘導標であり、視認性の向上 や注意喚起の必要性が生じた場合に、従来では交換や大掛かりな工事が必要でしたが、本技術の活用 により、既設本体を利用して材料費をおさえ、なおかつ工具不要で被せて貼り付けるだけの簡単な施工工程で通行車両等からの視認性が大きく向上し、安全性の向上が図れる技術です。  標準： 青地3本 ライン 設置例  標準： 緑地くの字 設置例  特注： 橙地文字 入り 設置例	本技術は、網目を細目化しL型本体パネルと中枠で構成され、中詰め材に砕石（40mm以上）を使用するドレーン工、土留工等に適用可能な工法です。底面が無い為部材がコンパクトで 置場を取らず運搬・設置が容易です。仕切り網が無い為、中詰め作業も容易で従来工法に比べて、工程の短縮、経済性の向上及び施工性の向上が図れます。  組立概要図   施工事例

準推奨技術 概要一覧

4. (令和6年5月9日選定)	5. (令和6年5月9日選定)	6. (令和6年5月9日選定)
HR-180002-VE	KK-180061-VE	CG-130006-VE
ソーラー式LEDクッションドラムⅡ (ソーラー電源による赤色LED照明を内蔵した内照式クッションドラム)	DCネット工法 (表層崩壊と表土の移動を抑制する斜面对策工法)	ハレーサルト張り出し歩道 (塩害及び凍害による劣化に対して優れた耐久性を有するプレキャスト張り出し歩道)
本技術は、上面蓋上に設置したソーラーパネルと、本体内部上面蓋に吊設された超高輝度赤色LEDライトとが接続され、透過性材料を用いた本体内部から赤色LEDライトが点滅し、本体が赤色に染まることにより視認性を高め、同期することによりさらに注意喚起できる技術です。  【夜間 光る様子】 【透過性の比較】 【矢印板 交互に光る様子】 【同期し光る様子】	本技術は、高強度ネット、ひし形 状に配したケーブルとその交差部に打設したロックボルト・プレートで 構成される地山補強工法です。簡易な部材構成により施工性が高く、面緑化も可能であり、環境に 配慮できる工法になります。  緑化の状況 施工事例	本技術は高炉スラグ微粉末と高炉スラグ細骨材により緻密な組成とした超高耐久性プレキャストコンクリート製品用コンクリート「ハレーサルト」を使用して、凍害・塩害・それらの複合劣化に対する抵抗性を高め、長期間供用を可能としたプレキャスト張り出し歩道になります。 

準推奨技術 概要一覧

7. (令和6年5月9日選定)	8. (令和6年5月9日選定)	9. (令和5年度選定)
CG-210003-VE	SK-180020-VE	KT-150113-VE
養生用防災クロス (ポリエチレン製保護フィルムを重ねなくても剥離剤による溶融や溶剤の浸透が発生しないポリエチレン製 防災クロス)	法面設置点検用階段・非常階段 (法面点検管理及び非常用等に用いる再生プラスチック製階段)	電線共同溝(通信)用接着レスさや管 (電線共同溝において接着剤を使用せずワンタッチで接続できるさや管。)
本技術は、鋼構造物等の塗装に用いる耐薬品性防護シートで、保護フィルムを重ねなくても剥離剤による溶融や溶剤の浸透が発生しない軽量で防災性能を有した技術です。   施工状況 塗料剥離状況   防災テープによる 付属設備の 養生風景 ※本テープに手切の傷はごいけません。テープを切る際はハサミ等をご使用ください。   スーパーライト防災クロス スーパーライト防災テープ	本技術は、主に傾斜地等における現場の点検管理に用いる組立式 階段であり、階段部分への手摺設置を可能とした技術です。従来の手摺は階段部分とは別に杭の打込み等が必要ですが、本技術の活用によりそれらの工程が不要となるため、施工性及び経済性の向上が期待できる技術です。   施工状況1 施工状況2   施工完了1 施工完了2	電線共同溝用共用FA方式及び1管セパレート方式で使用する接着レスさや管で、従来は接着剤を使用した接着接合で対応していた。本技術の活用により、接着剤での接合が不要となり、施工性・施工品質の向上、施工コストの削減が図られる。  ボディ管 接着レスさや管 ボディ管内さや管接続作業  挿入確認窓 「カチッ」と音がして接続完了

準推奨技術 概要一覧

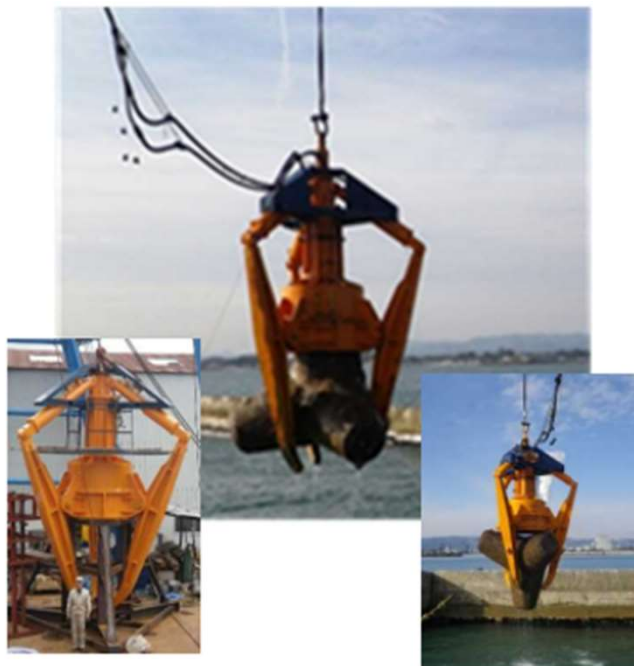
10. (令和5年度選定)

KKK-160001-VE

消波ブロック吊上装置『F3C』

(吊上作業の機械化により迅速・低コスト・安全に施工でき、大型ブロックに対応可能な消波ブロック吊上装置)

本技術は独自装置による消波ブロック吊上作業の機械化を行う技術であり、従来は潜土工作業による吊上げ方式(玉掛け方式)で対応していた。本技術により機械式吊具の遠隔操作による無人化を実現し、迅速且つ低コストで安全な消波ブロックの据付・撤去の施工を可能にする。



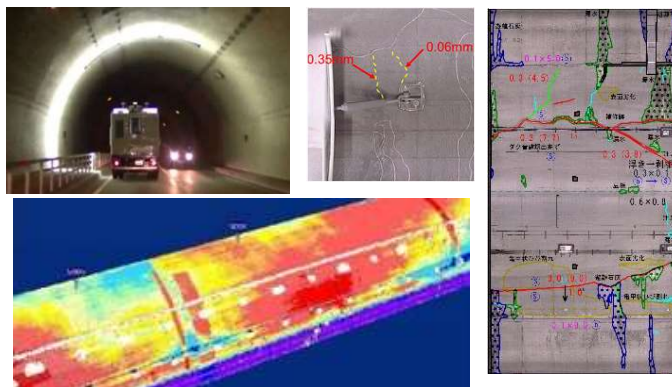
11. (令和4年度選定)

KK-130026-VE

走行型高速3Dトンネル点検システム MIMM (ミーム)

(高速走行しながらトンネル覆工壁面画像と三次元空間位置データを効率よく取得するシステム)

道路トンネル定期点検において、近接目視点検前に交通規制なしに覆工面カラー画像と高精度レーザ点群を取得するシステムである。変状箇所を抽出し、事前作成の変状展開図の活用により近接目視点検や打音検査の効率化を図る技術であり、経済性・安全性・点検精度の向上、効率化、正確・客観的な変状展開図作成が可能となる。



12. (令和4年度選定)

CB-170026-VE

EG y 防水コネクタ

(トンネル照明用ワンタッチ式防水コネクタ)

トンネル用照明器具の電源線、調光制御線、非常用回路線をワンタッチで接続できる防水コネクタ。嵌合時の防塵・防水性は、IP65、IP67を保証。また、半嵌合状態での導通を防止する機能、及び勘合状態を目視確認できる構造を有し、施工作業時間の大幅な短縮と共に、施工後の高い安全性、保全性を確保している。



準推奨技術 概要一覧

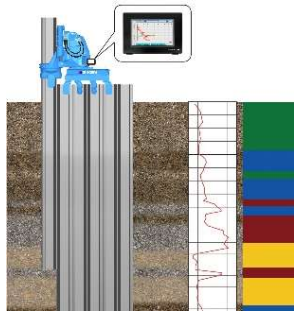
13. (令和4年度選定)

SK-170006-VE

PPTシステム®

(施工中に得られるデータを活用した地盤評価を基に自動制御運転を行う圧入工法)

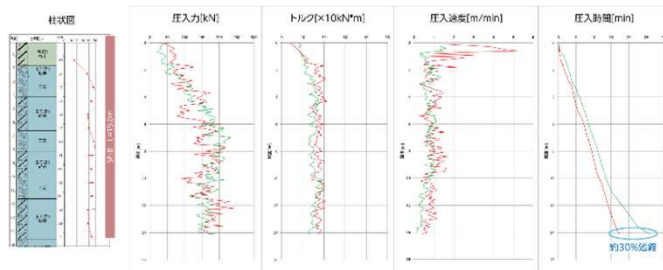
杭や矢板の圧入施工中に得られる圧入力等のデータを解析し地盤情報を推定する①PPTS®地盤情報推定、それらのデータを活用した自動制御による最適な設定での圧入施工を行う②PPTS®自動運転、の2つの機能により構成される圧入工法。



【PPTS地盤情報推定イメージ】



【PPTS自動運転イメージ】



【PPTS自動運転による圧入時間の短縮例】

14. (令和4年度選定)

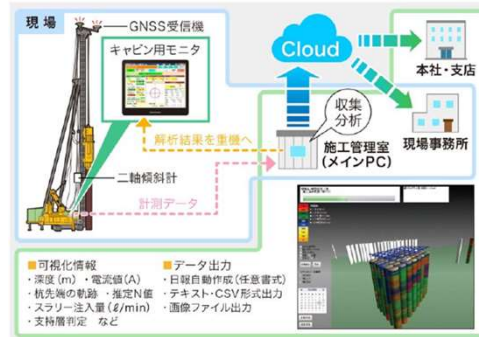
KT-170030-VE

杭・地盤改良施工情報

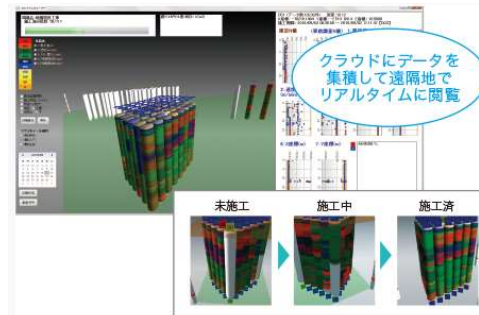
(可視化システム (3Dパイルビューアー))

杭・地盤改良工事における施工情報を可視化し、リアルタイムに計画杭芯位置への誘導、地中での杭・改良体の形状を表示するシステム。本技術の活用により、従来目視できない地中にある杭の状況が常時確認できるため、施工の品質向上、データ管理の省力化が図れる。

システム概要



使用画面



15. (令和3年度選定)

KK-150069-VE

鋼製埋設部路面境界部の損傷判定、診断方法

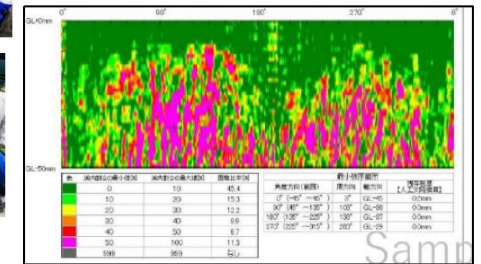
(パルス渦流法、超音波法を併用した路面境界部(地際腐食)の非破壊検査システム)

パルス渦流法 (以下: i-PECT)、超音波法 (POLE SCANNERぐる探、以下: ぐる探) のそれぞれの長所を活かし、道路附属物などの路面境界部の腐食を掘削せずに点検する技術である。センサーを押し当てただけで、短時間で点検できる i-PECTで腐食有無を判断後、腐食有には360°の腐食状況カラーマップ表示による詳細点検を行うぐる探を適用する。i-PECT、ぐる探はそれぞれ独立した技術であり、単独で点検業務に活用もできる。



点検状況
(上: i-PECT
下: ぐる探)

路線名	距離標	上下	支保 No.	健全部 数厚(mm)	方位	調査結果			
						0°	90°	180°	270°
○号	△	上り	1	4.2	判定	25%未満	25%未満	25%以上50%未満	25%以上50%未満
		下り	2	4.2	判定	2%未満	5%未満	3%未満	2%未満



点検結果(上: i-PECT 下: ぐる探)

準推奨技術 概要一覧

16. (令和3年度選定)

QS-150029-VE

透気試験機「パーマツール」

(表層コンクリートの透気性能を
非破壊かつ簡単に測定)

表層コンクリートの透気性能を非破壊かつ簡単に測定できる装置で、従来はコンクリート構造物から採取したコアを用いた加圧透水試験で対応していた。本技術の活用により、表層コンクリートの品質や表面保護材の効果等を容易に測定できるため、確実な品質確認が期待できる。



測定風景

測定画面

グラフから透
気係数の予
測が可能



17. (令和3年度選定)

KT-130057-VE

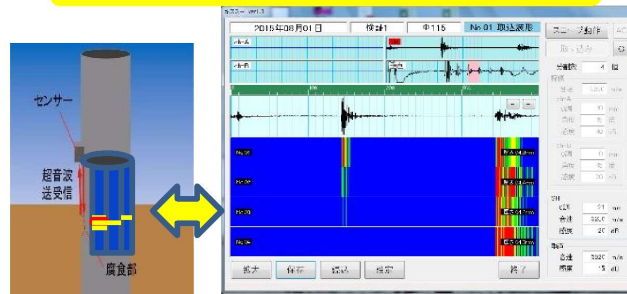
支柱路面境界部検査システム

(超音波による路面境界部の
非破壊検査システム「キズミー1」)

本技術は超音波を使用して支柱路面境界部の検査を行う技術である。

従来は掘削後に目視及び超音波厚さ計による検査で対応していたが、本技術の活用により、掘削・復旧作業が不要となり、工期短縮・安全性の向上が図れ、通行者への負担も軽減できる。

キズミーの操作画面及び計測イメージ



【キズミー操作PC画面】



減肉率 色別判断基準(一例)

- (赤): 掘削の必要あり(30%以上)
- (黄): 経過観察 3年(20%~30%)
- (緑): 次回定期点検(10%~20%)
- (青): 健全 (0%~10%未満)

18. (令和2年度選定)

KT-160124-VE

ロードラインマーキュリー ドライサポート工法

(水性路面標示用塗料の乾燥を
著しく早める工法)

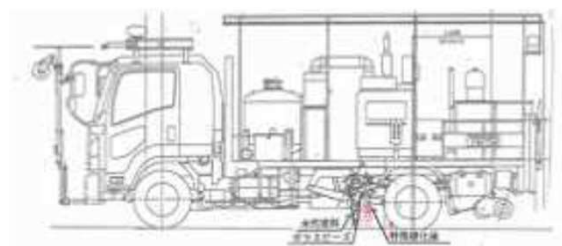
水性路面標示用塗料の乾燥を著しく早める工法である。水性路面標示用塗料「ロードラインマーキュリー」の塗布直後に、後撒きで特殊硬化液「ドライサポート」を塗布する。舗装路面に塗装された路面標示材の乾燥時間を著しく早める効果により、作業時間及び交通規制時間が短縮され、施工性と安全性の向上が図れる技術である。



施工状況



施工状況接写



工法概略図

準推奨技術 概要一覧

19. (令和2年度選定)

QS-160049-VE

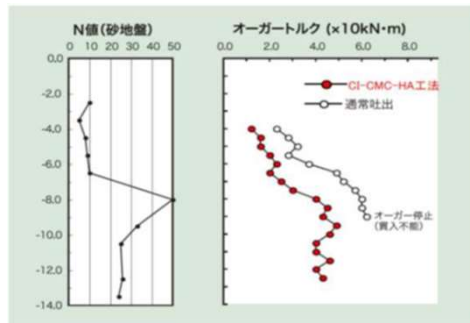
CI-CMC-HA工法

(硬質地盤に適応した大径・低変位の
深層混合処理工法)

攪拌翼（先端ビット・掘削ビット・エジェクター吐出口）の形状及び配置等を改善し、従来技術では施工が困難であった硬質地盤への適用が可能になった。N値50程度の砂質地盤、N値15程度の粘性土地盤までの適用が可能である。



新型攪拌翼とエジェクター吐出口



従来技術との貫入能力の比較図

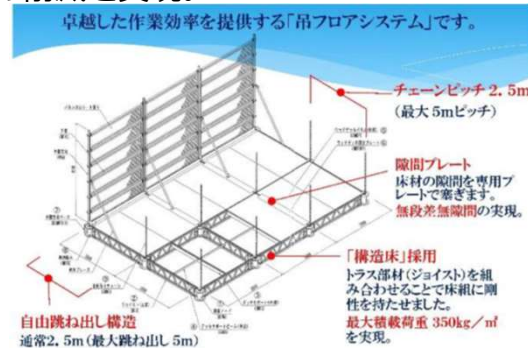
20. (令和2年度選定)

TH-150007-VE

先行床施工式フロア型 システム吊足場（クイックデッキ）

(長大なチェーンピッチと無隙間無段差のフロアで
快適な作業空間を提供する先行床施工型の
安全性の高いシステム型吊足場の技術)

従来型のパイプ式吊足場をシステム化することにより①熟練工でなくても容易に吊足場が構築可能②高強度材の使用により最大吊りチェーンピッチ5m、跳ね出し床最大5mを実現③最大100㎡程度の4点ユニット吊りにより工期と高所作業の削減を実現。



21. (令和元年度選定)

HK-140002-VE

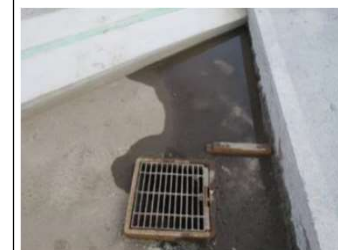
橋梁用埋設型排水桝

(上面+側面集水型「D3(ディースリー)パイプ」、
側面集水型「ジョイントドレーン」)

橋梁の床版防水層に滞留する雨水を床版勾配の最下流で排水する為の水抜き用排水桝である。伸縮装置の取換え工事と同時に設置することができ、排水経路は遊間を利用するため床版に削孔する必要がなく短時間で設置可能である。



- 伸縮装置の施工範囲内で排水装置を設置可能。
- 床版を削孔しない。
- 寒冷地は凍結膨張対応。
- 交通規制時間の短縮。
- 床版の延命化。
- 防水層の劣化防止。



雨水が滞留している例



導水管設置例

評価促進技術 概要一覧

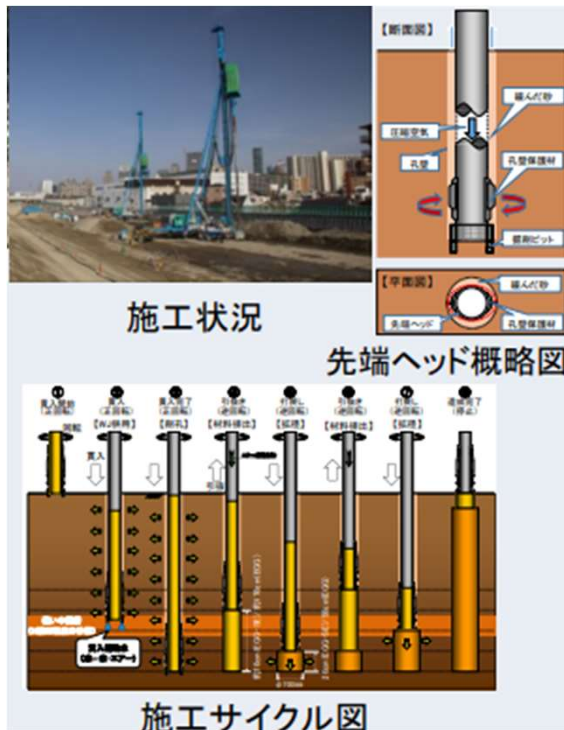
1. (令和6年度選定)

KTK-180001-A

KS-EGG-SE工法

(硬土土質に対応した無振動低騒音式
地盤改良工法)

本技術は、緩い砂質地盤に回転 駆動装置と押込みウィンチを組み合わせた回転貫入装置により、ケーシングパイプの静的貫入を行い、パイル材の排出・打戻し・拡張 によって締固めた杭を造成することで、原地盤を静的に締固める地盤改良工法です。



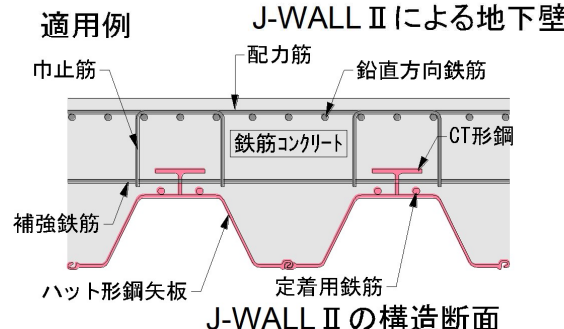
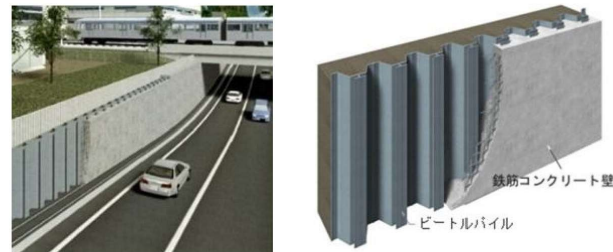
2. (令和3年度選定)

KT-190018-A

J-WALL(R)Ⅱ工法

(合成構造用鋼矢板の本体利用技術)

J-WALLⅡ工法は、合成構造用鋼矢板（製品：ビートルパイル®）を仮設土留め壁として利用し、地盤掘削後に鉄筋コンクリートと一体化させることにより、本設の合成壁を構築する工法である。従来の仮設土留め+本設鉄筋コンクリート壁と比較して仮設-本設兼用構造となる本工法では、壁厚を縮小し、敷地の有効利用が可能となる。また、本設土留め壁の施工数量を削減し、工期短縮やコストダウンを実現する。



3. (令和2年度選定)

QS-170028-VE

小口止太郎

(小口止め用プレキャストブロック)

積みブロック護岸工に附帯する小口止め工をハーフプレキャストにより構築する技術である。従来の現場打ちコンクリートによる小口止め工と比較して工期短縮を図れ、更にブロック表面はハツリ模様としていることで環境保全ブロックと調和する小口止めを造ることが可能。

